



TITLE:

昭和43年度指定書開架室に並ぶ

AUTHOR(S):

CITATION:

昭和43年度指定書開架室に並ぶ. 静脩 1968, 5(1): 5-5

ISSUE DATE:

1968-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36454>

RIGHT:

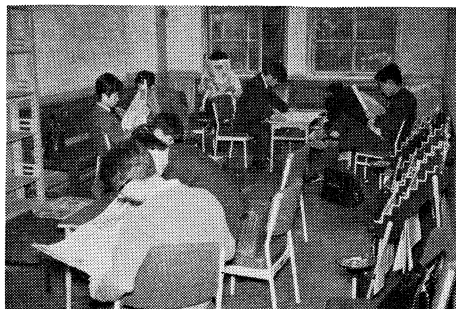
図 書 館 だ よ り

ご 存 知 で す か

○ 新聞閲覧室お目見え

昨年刊行の「京都大学70年史」の編集に使用していた70年史編集室がその残務整理も終わったので、新しく「新聞閲覧室」と衣がえして4月6日からスタートした。

この室は図書館の階段を2階に上ったとっつき一大閲覧室の西隣にある。日当りは悪くなったが、やはりいすに腰掛けて読む方が廊下の立ち読みより利用者にとっては落ち着くようだ。少々手狭だが休息の室として大いに利用されたい。



○ 昭和43年度指定書開架室に並ぶ

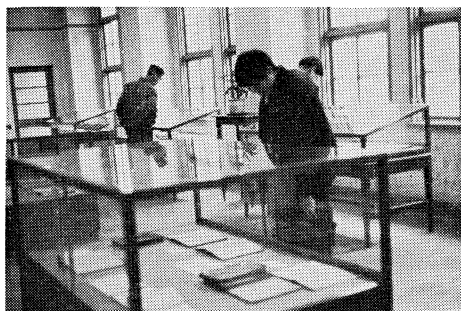
教官の講義の参考図書として学生に読ませるために、各学部の教官に選定を依頼した43年度の指定書237冊が購入され、大至急で整理を終えて全冊開架室に排架され、学生諸君の利用を待っています。これで排架されている指定書は4,846冊になりました。

○ オーストラリア大使館から図書寄贈さる

今回寄贈された205冊の図書の中には、オーストラリアの政治、経済、宗教、教育、歴史、民族にかんするものなど人文社会科学関係書が多く、オーストラリア百科事典、who's whoも含まれている。また、オーストラリアの原住民族に関する1800年代に発行された図書複製版が50冊もあり、オーストラリアを研究するものにとっては貴重な資料である。

展 観

京 都 大 学 貴 重 書 展



恒例の新入生歓迎のための貴重書展が4月11、12日の2日間本館陳列室で開かれた。本年の特長は附属図書館所蔵の図書に限ったことである。奈良より江戸末期に至る各時代の書誌学上代表的なもの27部を選び、その他に佐久間象山が元治元年（1864年）7月11日三条木屋町で暗殺された遭難時の遺品をあわせて展示した。上記図書の中には

尼崎本萬葉集 卷16 （平安末一鎌倉中期写本）

古今集注 （仁治2年伝二条師忠筆）

兵範記 （平信範自筆）

尚書聴塵 （清原宣賢筆）

の4部の重要文化財指定図書が含まれている。